

スマート工場 実証実験 県経営者協とタカノ 伊那周辺で

日本経済新聞 地域経済

2017年12月1日 2:19 [有料会員限定]

長野県経営者協会は伊那市周辺で、あらゆるモノがネットにつながるIoTを活用したスマート工場の実証実験を始める。2018年1～3月にタカノの工場でIoTを活用した在庫管理やカメラによる数量確認のシステムを導入する。NECソリューションイノベータのシステムを使う。

工場の効率化で生産拡大をめざす。18年度以降、タカノの別の工場で同様のシステムを導入するほか、伊那地域の別の企業2社でも導入する。その後は長野県内の別地域にも同様の取り組みを広げる方針だ。

将来は県内のIT（情報技術）企業と連携し、地域ごとの共通のIoTクラウドを立ち上げる構想がある。クラウドを共通化すれば、中小企業などがIoT用のサーバーを導入するコストが削減できるとみる。